37 01 07 01 03 001

事務事業評価表

1．基本事項

作成日　令和03年01月29日(金)

事務事業	道の駅管理事業	担当課	商工振興課	担当係	観光物産係	管理番号	3734
第2次総合計画		事業区分	■ 自治事務	□ 法定受託事務 →	対象拡大 有□ サービス拡充 有□		
行政計画分野別名 大項目	200003 活力とにぎわいにあふれるまち（産業振興）	根拠法令個別計画等	深谷市ふるさと物産センター条例 深谷市地域物産館アルエット条例 深谷市物産館条例 深谷市農産物直売所条例				
中項目	200002 雇用とにぎわいを生み出すまちづくり						
小項目	200002 観光資源の整備と活用						

事業概要	市内に３か所ある道の駅（おかべ・はなぞの・かわもと）の施設管理や地域産品等の販売を行うことで、地域産品のＰＲのほか、地域活性化の一端を担い、市の玄関口として立寄型観光の振興を図ることを目的とする事業である。 なお、道の駅おかべ・はなぞのの２施設については、指定管理者に管理運営を委託している。
目的 ※何のために	立寄型観光の振興を図るため。
対象 ※誰・何を対象に	道の駅施設、指定管理者、市内外利用者、地権者
手段 ※どのように	深谷市物産館管理、岡部ふるさと物産センター指定管理、花園地域物産館アルエット指定管理、道の駅（おかべ・はなぞの）駐車場の管理
成果 ※何を求めるか	施設を効率的に運営することができ、多くの集客が見込める。
執行体制	■ 市職員　■ 一部委託　□ 全部委託　■ 指定管理　□ 市民ボランティア　□ ＮＰＯ民間団体　□ その他（　　）

事務事業を構成する予算事業	会計区分	款		項		目		細事業名	前年度決算額（円）
	一般会計	07	商工費	01	商工費	03	道の駅管理費	道の駅管理事業	49,327,383
		00		00		00			0
		00		00		00			0
		00		00		00			0
		00		00		00			0

本事業の主な業務	
・ 深谷市物産館の管理運営	・
・ 岡部ふるさと物産センター指定管理者の選定	・
・ 花園地域物産館アルエット指定管理者の選定	・
・ 花園地域物産館アルエット北側駐車場の土地の借り上げ	・
・	・
・	・

2．事業費（投入コスト）

単位：円

区分			平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	
年度別計画			道の駅おかべ・はなぞの指定管理 道の駅かわもと直営	道の駅おかべ・はなぞの指定管理 道の駅かわもと直営	道の駅おかべ・はなぞの指定管理 道の駅かわもと直営 指定管理者の選定	道の駅おかべ・はなぞの指定管理 道の駅かわもと直営	道の駅おかべ・はなぞの指定管理 道の駅かわもと直営 埼玉県ブロック事務局業務	
事業費	予算（現額）		39,626,000	40,295,000	55,554,000	52,186,000	47,539,000	
	決算額		38,786,645	39,747,804	49,327,383	0	0	
	財源内訳	国支出金	0	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	0	
		他特定財源	38,786,645	39,747,804	49,327,383	45,709,000	43,619,000	
		一般財源	0	0	0	6,477,000	3,920,000	
人件費	従事職員数(人)		1.00	1.20	0.80	0.95	0.95	
	人件費相当試算※1		7,779,000	9,338,400	6,484,000	7,740,600	7,740,600	
			0	0	0	0	0	
(総事業費試算)			46,565,645	49,086,204	55,811,383	59,926,600	55,279,600	

※１　人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

事務事業評価表

３．評価指標

グラフ表示	区分	指標名		単位	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標なし
		年度別目標値の設定根拠									
		実績値の出所・算出式									
■	活動指標１	道の駅指定管理料	目標値	万円	0.00	2,779.00	4,123.00	4,123.00	4,123.00	4,123.00	□
			実績値		2,779.00	2,761.00	3,776.88	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		平成２９年度実績に深谷ベース分の管理費と道の駅おかべ分の修繕費を上乗せした目標値							
		道の駅指定管理料									
■	成果指標１	道の駅入込客数	目標値	千人	0.00	936.40	936.40	936.40	936.40	936.40	□
			実績値		960.00	1,114.30	1,127.41	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		平成２５～２９年度の平均値を目標値として設定した。							
		レジ通過人数等									
□	成果指標２	施設管理不備による事故発生件数	目標値	件	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	□
			実績値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		管理の瑕疵による事故発生０を目標とした。							
		業務安定システム事務処理対応表									
□			目標値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	□
			実績値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠									
□			目標値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	□
			実績値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠									
□			目標値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	□
			実績値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠									

４．観点別評価　（A：目標値どおり（以上）　B：ほぼ目標値どおり　C：目標未達成　ー：目標値の設定がないもの）

活動 （意図した活動を行っているか）	A	目標が設定できないものは、活動指標の数値の推移を説明 道の駅おかべについては、渋沢栄一翁関連施設との連携、道の駅はなぞのについては、移転した深谷ベースの有効活用など、入込客数の増加につなげる取り組みを行うことができ、深谷市の玄関口としての魅力が最大限に発揮された。
成果 （意図した成果が上がっているか）	A	目標が設定できないものは、成果指標の数値の推移を説明 道の駅おかべについては、渋沢栄一翁の効果もあり、入込客数が前年より３万３千人増であった。道の駅はなぞのについては、入込客数は若干減少したものの、売上げは対前年比で４％の増加であった。指定管理者による積極的な各種イベント開催により、入込客数は目標値を大きく上回っている。
効率性 （効率的に事務を行っているか）		目標が設定できないものは、効率指標の数値の推移を説明

評価者	観光物産係長　名取　孝明

５．前年度改善改革プラン達成状況

前年度 改善・改革案	道の駅おかべの老朽化に伴う修繕については、指定管理料に修繕費を上乗せ計上し、指定管理者側で、令和元年度から３年度の３箇年で実施していく。
達成状況 及び その効果	令和元年度は、空調設備の入れ替え工事を実施したことで、電気量が大幅に削減され、省エネにつながった。

事務事業評価表

６．所属長評価（今後の方向性）

事務事業	道の駅管理事業	担当課	商工振興課	担当係	観光物産係	管理番号	3734

□ ① 現状のまま継続
□ ② 見直して継続 →
■ ③ 拡充・重点化（コスト投入）
□ ④ 目的達成による終了
□ ⑤ 廃止を検討

- □ 委託化等の検討
- □ 成果向上のための改善
- □ 効率化のための改善
- □ 事業規模の縮小
- □ 他の事務事業と統合

評価の内容説明

渋沢栄一翁関連で、道の駅おかべの入込客数が飛躍的に伸びている。
一方で、道の駅おかべの老朽化に伴う修繕や道の駅はなぞのの改修工事など、今後、複数年は機能維持のための修繕を行っていく必要がある。計画的に実施し、施設の魅力アップにつなげてもらいたい。併せて指定管理者によるソフト事業など、入込客数がアップする取り組みを促していく。

評価者	商工振興課長　佐藤　靖彦

上記を実施するための具体的な取り組み内容は？

７．改善改革プランと今後の課題

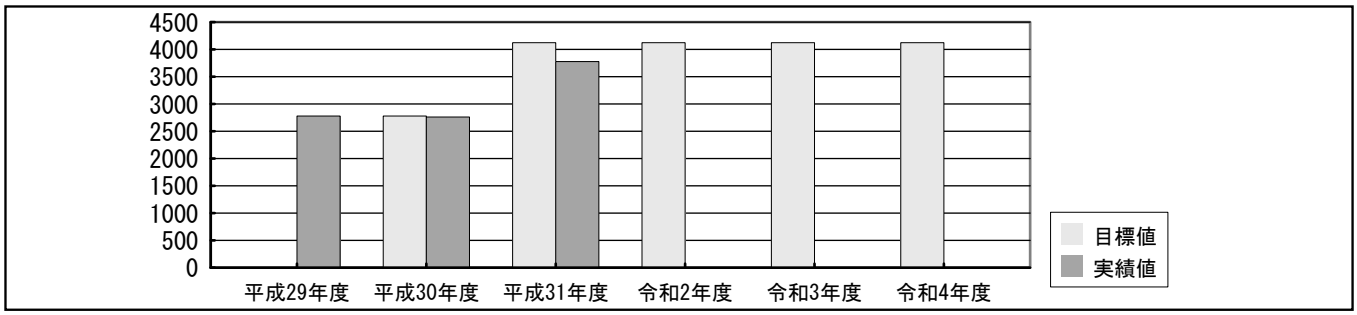
改善・改革案	道の駅おかべの老朽化に伴う修繕（トイレ、電気設備、浄化槽設備）については、指定管理料に修繕費を上乗せ計上し、指定管理者側で、令和３年度から５年度の３箇年で実施していく。

８．今後の課題(年度別計画等により実施する取り組み等)

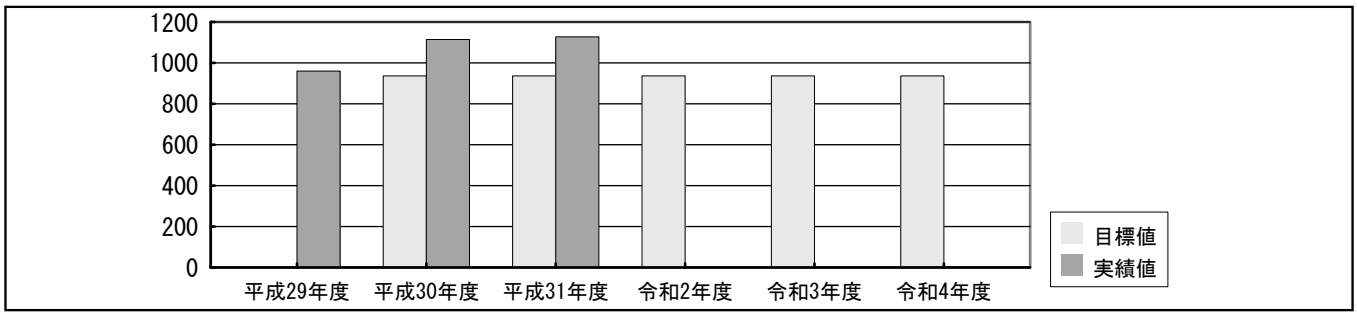
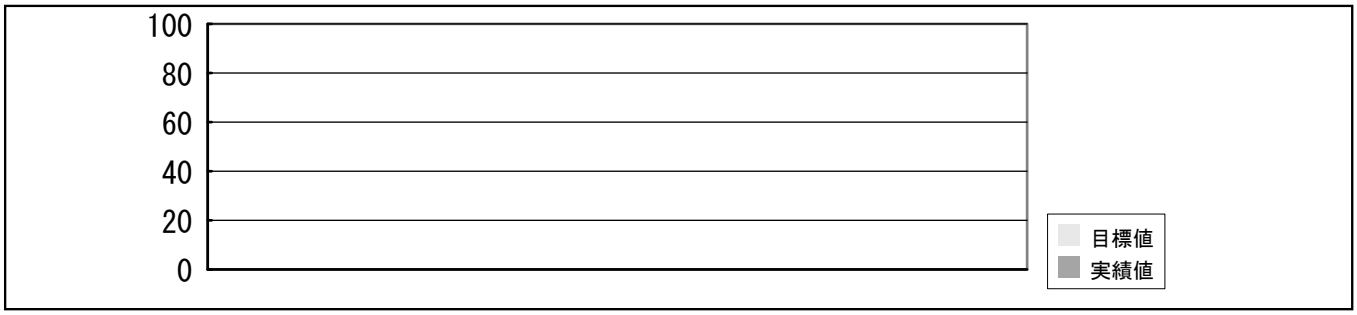
今後の課題	はなぞの道の駅の改修工事については、令和２年度より３箇年で実施していく。効率性やコスト面からこの改修工事については指定管理料に上乗せし、指定管理者側で実施していく。テナント店と十分に調整を行い、できるかぎり休業期間が短くなるように工事を実施したい。

９．評価指標グラフ

区分	活動指標１	指標名	道の駅指定管理料



区分	成果指標１	指標名	道の駅入込客数



区分		指標名